

令和2年度

「茅ヶ崎・寒川合同調査員会による調査資料」

調 査 資 料

教科： 国語 種目： 国語 NO. 1

発行者の番号	2	15
発行者の略称	東 書	三省堂
書 名	新しい国語	現代の国語
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を意識し、学習の流れを見通しながら取り組めるよう、各教材の冒頭に「問いかけ」が設けられている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域で身に付けさせたい力が、教材ごとに「言葉の力」として示されている。 ・様々な場面で活用できる汎用的能力を身に付けられるよう、「学びを支える言葉の力」が設定されている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って学習することができるよう、「領域別教材一覧」に、学習内容が「つきたい力」として、領域ごとにまとめられている。 ・何をどのように読めばよいのかという方法が図で示されている「読み方を学ぼう」が掲載されている。 ・「学びを振り返る」では、「目標」に示したキーワードを、「振り返りのキーワード」として示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の行数の指示に対して、数えやすいよう、各行の下に点と数字が表記されている。 ・教材に関連するデジタルコンテンツを参照するためのDマークが示されている。 ・親しみを持って学習に取り組むことができるよう、イラストやキャラクター同士の会話が複数掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文や図解、資料について、必要に応じてインターネットを通して確認できるよう、二次元コードが掲載されている。 ・色覚の特性の有無で、見やすさに差が出ないよう、古典教材の現代語訳は、青色で表記されている。 ・全ての生徒への配慮として、注釈が、色の違いだけでなく、形の違いや記号で識別できるよう、表記されている。

調査資料

教科： 国語

種目： 国語

NO. 2

発行者の番号	17	38
発行者の略称	教出	光村
書名	伝え合う言葉 中学国語	国語
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<p>・見通しを持って学習することができるよう、冒頭の「学習の見通しをもとう」に、学習内容が領域ごとにまとめられている。</p> <p>・情報化社会で適切に情報を読み解き、自ら考える力を育めるよう、各学年に「情報社会を生きる」が掲載されている。</p> <p>・語彙力や論理的思考を育むため、「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」が掲載されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>・身体の発達状況を考慮して、軽量化された用紙が使用されている。</p> <p>・行数の提示、ユニバーサルデザインフォントなど、全ての生徒に配慮した編集がされている。</p> <p>・各題材の終わりに、新出漢字と言葉のまとめが掲載されている。</p>	<p>・各教材に示される観点項目を表すマークが、それぞれ異なる形や色で分けられている。</p> <p>・必要に応じて、教材や内容に関わる資料にアクセスできるよう、随所に二次元コードが掲載されている。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントなどに配慮した編集がされている。</p>

調査資料

教科： 国語 種目： 書写 NO. 1

発行者の番号	2	15
発行者の略称	東書	三省堂
書名	新しい書写	現代の書写
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かめながら学習できるよう、書写学習で身に付ける知識・技能の注意点を示す「書写のかぎ」が設けられている。 ・ 学習内容を他教科や日常生活に生かせるよう、活用単元として「生活に広げよう」が設定されている。 ・ 小学校での学習を振り返るための「基本の点画の書き方」では、「とん」「すう」「びたっ」などの擬態語を伴って整理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆で学んだことを硬筆に生かすために、毛筆の学習後に硬筆の学習をするような構成になっている。 ・ 3年間の学習による自己の成長を振り返られるよう、1年生の始まりと3年生の終わりの自分の文字を比較できるページが設けられている。 ・ 他教科の学習と関連付けができるよう、数字やアルファベットの練習が取り上げられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字文化の様々な側面を理解できるよう、文字文化コラム「文字のいずみ」には、写真や図版が掲載されている。 ・ 他教科の学習や日常生活の中でよく使う書式が、巻末の「書写活用ブック」に掲載されている。 ・ 利き手に関係なく教材文字を見ながら練習できるよう、教材文字と書き込み欄が上下に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年のページが一目で分かるよう、色分けされている。 ・ 学習内容が一目で分かるよう、見開き右ページに目標やポイントが、左ページに手本が示されている。 ・ 学習内容を振り返られるよう、各単元の学習内容が、巻末に一覧として掲載されている。

調査資料

教科： 国語

種目： 書写

NO. 2

発行者の番号		17	38
発行者の略称		教出	光村
書名		中学書写	中学書写
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組めるよう、「学習の進め方」では、生徒の活動の具体的な様子が写真で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆学習を硬筆に生かしたり、知識・技能の習得をしたりするため、綴じ込みの「書写ブック」が付けられている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> 書写学習で習得した能力を学校生活や社会生活に生かすため、活用例の写真や図版が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書写学習を日常生活に生かすことができるよう、身の回りで使われている文字を扱った「文字を使い分ける」が設定されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習した内容を振り返られるよう、基本点画・筆圧・穂先の向きなどの筆使いが、細分化して掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習を通して文字の書き方の原理原則を発見し、理解・確認・応用ができるよう、「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」という構成になっている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の筆使いや筆順を理解できるよう、全ての手本に筆順を表す番号が示されている。 毛筆手本を半紙形のイメージで捉えられるよう、紙面がAB判になっている。 穂先の動きや筆の運びを確かめるため、2色の薄墨を使って示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文字文化を理解できるよう、筆記具や書写に必要な道具の製造工程が写真で掲載されている。 生徒がイメージを持ちやすいよう、文字の歴史や書文化を紹介する「コラム」に、写真や図版が掲載されている。 目次や単元名などは、全ての生徒にとって読みやすく、見やすくなるよう、ユニバーサルデザインフォントで表記されている。

調査資料

教科： 社会

種目：地理的分野

NO. 1

発行者の番号	2	17
発行者の略称	東書	教出
書名	新しい社会 地理	中学社会 地理 地域にまなぶ
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等が高められるよう、単元全体を通じた問いである「探究課題」を軸に、各単元の学習が構成されている。 ・地理学習に必要な技能を身に付けられるよう、資料を使って探究的な学習を主体的に進められる「スキル・アップ」が設けられている。 ・社会的事象を地理・歴史・公民の各分野から考察できるよう、「もっと地理」が設けられている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに本文の学習に進んでいかれるよう、導入に示された写真・図表の補足・説明として、「LOOK！」が掲載されている。 ・1単位時間で学習したことを、確認・整理から表現活動へと段階的に取り組めるよう、各題材の終わりに「確認」と「表現」が設けられている。 ・本文の学習から興味や関心を広げられるよう、コラム「地理の窓」が掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習に必要な情報に集中できるよう、文字の装飾を省いたフラットデザインが採用されている。 ・文字の視認性を高められるよう、本文中の振り仮名は、本文の文字と異なる色のゴシック体を用いて表記されている。 ・社会的事象の意味を確実に理解できるよう、本文には、各学年の発達段階に応じた平易な表現が使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に役立つ様々な情報を収集できるよう、「まなびリンク」が設けられている。 ・課題意識を持って資料を読み取ることができるよう、資料についての問いかけに「Q」マークが付けられている。 ・興味を持って学習し、資料活用を中心とした読解力を身に付けられるよう、各テーマの始めに、人々の生活に根ざした写真が複数配置されている。

調査資料

教科： 社会

種目：地理的分野

NO. 2

発行者の番号	4 6	1 1 6
発行者の略称	帝 国	日 文
書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
内 容	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 (イ) かながわ教育ビジョンとの関連 (ウ) 内容と構成 <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を引き出すことができるよう、「日本の諸地域」では、各節の冒頭にイラスト地図が掲載されている。 ・持続可能な開発目標（SDGs）の意義についての理解を深められるよう、環境・防災・共生を主題としたコラム「未来に向けて」が掲載されている。 ・見通しを持って学習に取り組めるよう、段階的に「章の問い」・「節の問い」・「学習課題」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を掘り下げて、理解を深めることができるよう、コラム「地理+α」が掲載されている。 ・具体的な課題を自ら調べたり、クラスで議論したりすることを通して、学びを深めていかれるよう、「チャレンジ地理」が複数設けられている。 ・学習内容の理解を深め、地理的事象を身近なこととして捉えられるよう、様々な地理的話題を扱う「自由研究」が掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解を深められるよう、「技能をみがく」の内容についての解説動画が見られる二次元コードが掲載されている。 ・本文内の難解な用語について、すぐに確認できるよう、「解説」が該当ページ内に掲載されている。 ・情報活用能力を育めるよう、写真や資料の読み取り方について解説したページが随所に設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間分の学習の流れを意識できるよう、「学習課題」・「見方・考え方」・「深めよう」・「確認」が、見開きページの両端に、統一して配置されている。 ・小学校社会科の学習や、歴史・公民の学習とのつながりが、ページ下に、それぞれの関連性を示すマークと問いで示されている。 ・興味・関心を持って取り組めるよう、問いかけや学習のヒントが、中学校の先生や生徒のキャラクターの吹き出しで示されている。

調査資料

教科： 社会

種目：歴史的分野

NO. 1

発行者の番号		2	17
発行者の略称		東書	教出
書名		新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持って主体的に学べるよう、各章の始めに「探究課題」・「探究のステップ」、1単位時間の導入部に「学習課題」が設定されている。 学習内容の定着を図られるよう、右ページ下に学習事項を確認する「チェック」、説明・話し合い活動のための「トライ」が設けられている。 学びを深められるよう、歴史的な見方・考え方を働かせて取り組むことができる、「見方・考え方」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な問いを示すことで、資料を活用する技能を身に付けられるよう、各資料に「Q」や「読み解こう」が設定されている。 各時代のまとまりを確認し、表現する活動に取り組めるよう、各章末に学習内容を構造化して掲載している「学習のまとめと表現」が、設定されている。 課題意識を持って学習に取り組めるよう、毎時のタイトルに学習内容を象徴的にイメージできる主題と、学習事項を示す副題が示されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連		
	(ウ) 内容と構成		
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> 各章の始めに掲載されている絵や図に、小学校の学習とのつながりが分かるよう、△マークが表記されている。 特別支援教育の観点から、学習に必要な情報に集中できるよう、立体感や陰影のある表現を省いたフラットデザインが使用されている。 社会科以外の様々な教科とのつながりを意識できるよう、教科関連マークが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読みながら確認できるよう、側注で補足説明のある用語と、本文と関連する資料がある箇所に、それぞれ異なる形と色で示された番号が表記されている。 小学校の学習との接続の観点から、小学校で学習した人物にはマークが付けられている。 日本や世界の多様な文化について理解が深められるよう、資料に「国宝」・「重文」・「世界遺産」のマークが使用されている。

調 査 資 料

教科： 社会

種目：歴史的分野

NO. 2

発行者の番号		4 6	8 1
発行者の略称		帝 国	山 川
書 名		社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な立場や選択を通して、考察に取り組めるよう、「多面的・多角的に考えてみよう」が3か所設けられている。 ・ 倫理感が養われるよう、「未来に向けて」に人権・平和の尊重・自然環境の保全についてのコラムが掲載されている。 ・ 見通しを持って学習することができるよう、各章・節の問いとともに、毎時の「学習課題」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を読み取る上での視点となるよう、史料や図版・地図・グラフ等に解説や発問が付されている。 ・ 歴史的な見方・考え方を身に付けられるよう、時期・推移・因果関係・差異に着目して考えさせる問いが掲載されている。 ・ 話し合いや考察を通して課題を追究できるよう、「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページが設けられている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連		
	(ウ) 内容と構成		
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時代のイメージをつかめるよう、見開きの大部分を使い、時代を概観できるイラスト「タイムトラベル」が掲載されている。 ・ 本文を読みながら参照できる関連資料の種類が分かるよう、マークが色分けして表記されている。 ・ 色覚に特性のある生徒に配慮して、折れ線グラフ等は、識別しやすい色を使用するとともに、色以外の情報からも読み取れるよう、線種を変えて表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の難解な用語について自ら確認し、理解を深められるよう、ページの下部に「用語解説」が掲載されている。 ・ ユネスコの世界遺産と日本の国宝の写真には、「世界遺産マーク」と「国宝マーク」が付されている。 ・ 学んでいる題材が日本の内容か世界の内容かが分かるよう、ページ内の基本色が赤系と青系で分けられている。

調 査 資 料

教科： 社会

種目：歴史的分野

NO. 3

発行者の番号	1 1 6	2 2 7
発行者の略称	日 文	育鵬社
書 名	中学社会 歴史的分野	[最新] 新しい日本の歴史
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学ぶことができるよう、各編の導入ページに「めあて」、本文ページに「見方・考え方」、まとめ編末に「アクティビティ」が設定されている。 ・社会の持続可能な発展に向けて、主体的に学習に取り組めるよう、「グローバル化と日本の課題」に、人権・環境・平和・防災・減災等の課題が設定されている。 ・各時代の日本と世界の動きを関連させて捉えられるよう、各編の始めに「地図で見る世界の動き」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統と文化を尊重する気持ちが育まれるよう、巻頭に「日本の美の形」、巻末に「日本列島・歴史の宝庫ー各地のおもな遺跡・史跡」が記載されている。 ・話し合いを通して、主体的・対話的で深い学びを実現するため、「歴史のターニングポイント」が設けられている。 ・思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう、毎時間の学習の中で学習のまとめの課題が右ページ下に設けられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の授業で学習する時代の位置付けが理解できるよう、小年表が右ページに掲載されている。 ・教科書の記載内容を全て見るができるよう、あじろ綴じが採用されている。 ・生徒の実態に即して学習内容を弾力的に扱えるよう、配当時間例として、20時間の予備時数が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図版は、色覚特性を踏まえて、全ての生徒にとって見やすさや判別しやすさに配慮した色が使用されている。 ・小さい文字が読みにくい生徒への配慮として、振り仮名にはゴシック体が使用されている。 ・環境への配慮から、再生紙と植物性インキが使用されている。

調査資料

教科： 社会

種目：公民的分野

NO. 1

発行者の番号	2	17
発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決的な学習ができるよう、章の始めに「探究課題」、各節に「学習課題」、章末に「探究のステップ」が設定されている。 ・ 主体的な思考を促すため、「基礎・基本のまとめ」では、社会科的な考え方の視点が例示されている。 ・ 横断的な学習ができるよう、他分野・他教科との関連を扱った「もっと公民」やコラムが掲載されている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びに向かう力を育めるよう、各単元の冒頭に、学習課題への着眼点を示している「LOOK！」が掲載されている。 ・ 評価の3観点に対応した学習の振り返りができるよう、「学習のまとめと表現」が設けられている。 ・ 情報リテラシーや情報モラルの視点を持つよう、「公民にアプローチ」が掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心を高められるよう、サイトにリンクできる箇所に、「Dマーク」や二次元コードが示されている。 ・ 文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させるため、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・ 1 単位時間の学習内容を把握できるよう、1 時間の内容が、原則見開き 2 ページに掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の深化が図られるよう、資料の収集などに役立つ情報が用意されている箇所に、「まなびリンク」のマークが付けられている。 ・ 系統的・横断的に学習をしやすいよう、「小学校、他分野、他教科との関連」や「関連する SDGs」が脚注部に示されている。 ・ 単元ごとの学びやすさへの配慮から、学習内容が細分化され、全体が 7 章で構成されている。

調査資料

教科： 社会

種目： 公民的分野

NO. 2

発行者の番号		4 6	1 1 6
発行者の略称		帝 国	日 文
書 名		社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の観点から、勤労観の育成をねらいとした学習課題である「先輩たちの選択」が6か所に掲載されている。 各章の冒頭に、学習への動機付けや方向付けができるよう、紙面全体にわたる大きなイラストから、社会全体を概観できる「学習の前に」が設けられている。 知識をさらに深められるよう、本文中の各権利や義務の語句に、日本国憲法のどの条文に関連するかについての情報が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参画を促すための手がかりとなるよう、実生活に関わる具体的な事例を紹介する「公民+α」や「明日に向かって」が設けられている。 多面的な視点からの思考を促せるよう、地理や歴史等との横断的な内容を扱う「チャレンジ公民」が設定されている。 学習内容を深化し、主体的な学びを促す課題として、「アクティビティ」が掲載されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連		
	(ウ) 内容と構成		
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> 学習のポイントを意識して取り組めるよう、重要語句が太字のゴシック体で表記されている。 全ての生徒にとって理解しやすくなるよう、タブレットパソコン等で関連動画や補足資料が見られる箇所に、二次元コードが表記されている。 全ての生徒が学習しやすいよう、目線の移動に配慮し、資料の大きさや配置が統一されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮した配色の資料が掲載されている。 主体的で深い学びを促すよう、収集した情報について、まとめたり考察したりする際に活用できる「シンキングツールを使ってみよう」が示されている。 単元で習得すべき「見方・考え方」をおおまかにつかむことができるよう、導入に漫画が掲載されている。

調査資料

教科： 社会 種目： 公民的分野 NO. 3

発行者の番号		225	227
発行者の略称		自由社	育鵬社
書名		新しい公民教科書	[最新] 新しいみんなの公民
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びに向かう力を育み、発展的な学習の理解を深められるよう、「もっと知りたい」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習得した知識・技能を活用して考え、表現する力を育めるよう、単元ごとに学習段階に応じた多様な言語活動が掲載されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民に関わる重要な言葉を正確に理解できるよう、「ミニ知識」のコラムが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に発展性や具体性を持たせるよう、言語活動や調査を促す「やってみよう」が設けられている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に考え、多面的に捉えることができるよう、「アクティブに深めよう」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会参画に寄与する態度を養うため、巻頭・巻末に SDGs との関連が示されている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えなどを直接教科書に書き込むことで、学びを整理し、学習の深化につながるよう、余白が広く設けられている。 ・ 全ての生徒が学習しやすいよう、情報量を精選した表やグラフが掲載されている。 ・ 生徒が主体的に知識を深められるよう、巻頭に「学習を深めるために」が設けられ、学習内容と関わりの深い人物が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への理解が深められるよう、法令や年表、日本の伝統文化の一覧表などの学習資料が巻末に設けられている。 ・ 全ての生徒が課題認識を高められるよう、導入資料に吹き出しが設けられている。 ・ 地理的分野と歴史的分野との関連を示し、横断的な学習ができるよう、「地理」「歴史」のマークが表記されている。

調査資料

教科： 社会

種目： 地図

NO. 1

発行者の番号	2	46
発行者の略称	東書	帝国
書名	新しい社会 地図	中学校社会科地図
内容	<p>(ア) 複数の資料を関連させて見ることで、学習に広がりを持てるよう、関連するページを示す「ジャンプ」が設けられている。</p> <p>(イ) 国際社会が抱える様々な課題を理解できるよう、巻頭にSDGsを特集するページが設けられている。</p> <p>(ウ) 興味・関心を持って取り組めるよう、特に日本と結びつきが強いアジアについては詳細に扱われている。</p>	<p>・世界の諸地域の姿を、より具体的・視覚的に捉えられるよう、世界各州のイラスト付きの鳥瞰図が掲載されている。</p> <p>・主体的に学習できるよう、地図帳を補完する資料を閲覧できる二次元コードが設けられている。</p> <p>・主体的に取り組みながら、地理的思考を深められるよう、「地図活用」に問いや課題が設けられている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>・社会的事象を多面的・多角的に考察することで、学びを深められるよう、歴史や公民の学習にも役立つ資料に、それぞれマークが記載されている。</p> <p>・課題解決的な学習で、効果的に資料を活用できるよう、テーマごとに資料を参照できる「資料さくいん」が設けられている。</p> <p>・資料の理解を促し、考察を深められるよう、資料の読み取りのポイントや見方・考え方を示したキャラクターの吹き出しが設けられている。</p>	<p>・広域なつながりを確認できるよう、A4判が採用されている。</p> <p>・地図専用の特殊な用紙を使用するとともに、特殊インキも加えた多色刷りで印刷されている。</p> <p>・学習内容を確認しやすいよう、原則として、タイトルが見開きページの左上に固定して配置されている。</p>

調査資料

教科： 数学

種目： 数学

NO. 1

発行者の番号		2	4
発行者の略称		東 書	大日本
書 名		新しい数学	数学の世界
内 容	(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見・問題解決の過程を意識して学習を進められるよう、「深い学び」のページが設けられている。 見通しを持って、主体的に学習に取り組めるよう、「Q 考えてみよう」や「Q 調べてみよう」に、それぞれ補助発問が設けられている。 小学校算数の学習を生かし、活動の楽しさを実感しながら学び方が身に付くよう、第1学年では0章「算数から数学へ」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会における数学の有用性に気付けるよう、「発見！仕事のなかの数学」や「MATHFUL」が掲載されている。 小学校の学習とのつながりを意識できるよう、第1学年の1章を、小学校の学習内容を生かして学ぶ「数の世界のひろがり」としている。 主体的に学びに向かえるよう、各章の導入には、その章のそれぞれの学習につながるような活動や投げかけが掲載されている。
	(イ) かながわ教育ビジョンとの関連		
	(ウ) 内容と構成		
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習理解を助けるため、巻末の「章の問題B」の解答に、「考え方」や「説明のポイント」が示されている。 主体的に学習に取り組めるよう、各ページの右端に、参考となる内容や参照すべきページが表記されている。 例題で学んだ内容を確実に身に付けられるよう、「例」と関連する問題に「◆」マークが表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動を自主的に展開できるよう、ページの端に問題解決学習のプロセスが示されている。 学習の振り返りに活用できるよう、1年間の学習内容が章ごとにまとめられた「〇年のまとめ」が、切り取って小冊子にできる形で巻末に付けられている。 異文化理解を促し、多様性を認め合う心を育めるよう、外国につながるのあるキャラクターやオリンピック・パラリンピックに関連した題材が掲載されている。

調 査 資 料

教科： 数学

種目： 数学

NO. 2

発行者の番号	1 1	1 7
発行者の略称	学 図	教 出
書 名	中学校数学	中学数学
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学の有用性を実感し、学びに向かう意欲を高められるよう、コラム「数学の力」や「役立つ数学」が掲載されている。 ・ プログラミング的思考を育めるよう、プログラミングソフト「スクラッチ」を用いた例を掲載した「プログラミングを体験してみよう」が設定されている。 ・ 項目にチェックすることで自らの学習状況を把握できるよう、各章末に「できるようになったこと」が設けられている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて、小学校算数や前学年の内容を確認しながら学習を進められるよう、「学びのマップ」が掲載されている。 ・ 数学を社会に役立てようとする姿勢を養えるよう、数学と生活・職業等との関連を扱った「数学の広場」が掲載されている。 ・ 次の単元を学ぶために必要とされる既習内容を確認できるよう、各単元末に「〇〇を学習する前に」が設けられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考え方をまとめたり、相手に伝達したりする場面で、繰り返し活用できるよう、巻末に「アイデアボード」が付けられている。 ・ 主体的に学習を進められるよう、二人のキャラクターの吹き出しによる話し合いの場面から見いだされた疑問等が、「目標」として示されている。 ・ 図形の変化などが視覚的に理解できるよう、ページの右上に、複数のページを連続してめくることで動画のように見える図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に取り組みながら、統合的・発展的に考えられるヒントを参照できるよう、ページの右端に、「数学的な考え方」が具体的な説明とともに記載されている。 ・ グラフを描く練習ができるよう、巻末に、切り取って使用できるグラフ用紙が付けられている。 ・ 学習後の振り返り活動を定着させるため、「学習のまとめ」の中に書き方の具体例が示されている。

調査資料

教科： 数学

種目： 数学

NO. 3

発行者の番号	6 1	1 0 4	
発行者の略称	啓林館	数 研	
書 名	未来へひろがる数学	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学	
内 容	(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を振り返り、それを生かして改善していこうとする態度を育めるよう、巻末に「学びのあしあと」が設けられている。 ・ 導入で主体的に課題を見出し、発展につなげていかれるよう、各節の始めに数学的活動を取り入れたページが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考えを出し合いながら学習を進められるよう、数学的活動を通して解決するための課題「TRY」が設けられている。 ・ 身に付けたい力に対し、自分の到達度を確認することができるよう、巻末に「学びの自己評価」が設けられている。
	(イ) かながわ教育ビジョンとの関連 (ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での学習内容と関連付けて考えられるよう、1学年の「正の数・負の数の計算」では、四則計算が、算数の学習と同じ形で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動をイメージできるよう、学習内容に対するヒントや解説が、キャラクターの会話形式で記載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心を持って学習に取り組めるよう、「自分から学ぼう編」は縦開きの紙面構成とし、それを生かした図やイラストの配置となっている。 ・ 主体的に学習を進めることができるよう、視覚教材や問題の詳しい解説などが視聴できる二次元コードが掲載されている。 ・ 主体的・対話的な活動を促すよう、その活動が期待される場面に、「説明しよう」や「話しあおう」が表示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本冊で学習した内容を深められるよう、「探究ノート」が別冊として編集されている。 ・ 小学校算数や前学年までの学習内容とのつながりが視覚的に分かるよう、巻末のまとめでは、同じ領域が縦に配列されている。 ・ ICT を活用した学習を進められるよう、視覚教材や補助課題に対応する箇所に、「Link アイコン」が表示されている。 	

調 査 資 料

教科： 数学

種目： 数学

NO. 4

発行者の番号		1 1 6	
発行者の略称		日 文	
書 名		中学数学	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識を習得できるよう、「数学のた んけん」に、学習した内容に関連する様々 な資料が掲載されている。 基礎的・基本的な力が確実に定着するよ う、1学年の始めに「算数の確かめ」が、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> 各章の直前に「次の章を学ぶ前に」が設 けられている。 思考力・判断力・表現力等を養えるよう、 方法や理由などを説明する記述式の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> 「説明できるかな？」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現でき るよう、巻末に、切り取ってノートに貼れ る「対話シート」が付けられている。 目標を意識し、見通しを持って学習に取 り組めるよう、学習のまとめりごとの「め あて」は、異なる色と字体で表記されて いる。 数学的な見方・考え方を意識しながら学 習が進められるよう、巻頭ページの「数 学的な見方・考え方を身につけよう！」 では、具体的な場面が例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

調査資料

教科： 理科

種目： 理科

NO. 1

発行者の番号	2	4	
発行者の略称	東 書	大日本	
書 名	新しい科学	理科の世界	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の目的を意識して学習を進められるよう、各節の導入に、「問題発見レッツ スタート!」や「?課題」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項との関連を意識して学習を進められるよう、単元の始めに写真や図・イラストが複数掲載された「これまで学習したこと」、「これから学習すること」が設けられている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能でつまずきやすい箇所に、インターネットを活用して学習ができるよう、動画や他教科の内容に関連する資料が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的に探究する力の育成を図れるよう、1学年の巻末に、「探究の進め方」が掲載されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を通して理解が深まるよう、課題に対する考察を促す問いが、「分析解釈考察しよう」に設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科を学ぶことの有用性を実感できるよう、学習内容に関わる職業や仕事等についてのコラム「Professional」が掲載されている。
分量・装丁・表記 等	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が高まるよう、内容に関連する写真を、表紙や単元・章の始めのページ全面に配置している。 ・視覚的な刺激が抑えられるよう、分野ごとに背景色が統一され、登場人物キャラクターの服装の色は背景色に合わせて配色されている。 ・学習内容の理解を深められるよう、巻末に、切り離して活用できるペーパークラフトや星座早見が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びの負担が少なくなるよう、B5サイズにするとともに、奥まで開くあじろ綴じが採用されている。 ・既習事項を確認しながら学習することを意識して取り組めるよう、「思い出そう」の背景色が統一されている。 ・発行者のホームページに掲載されているデジタルコンテンツに対応する箇所には、ホームページを表すマークが付けられている。 	

調査資料

教科： 理科

種目： 理科

NO. 2

発行者の番号	1 1	1 7	
発行者の略称	学 図	教 出	
書 名	中学校 科学	自然の探究 中学理科	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間を通して探究する力の育成を図れるよう、各学年に合わせた探究課題等が「理科のトリセツ」として掲載されている。 ・ 資質・能力の3つの柱を意識して取り組めるよう、章の始めに「Can Do List できるようになりたい目標」が、章末に「Can Do List 自己チェック」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を日常生活に活用する力が育まれるよう、獲得した知識や技能を用いて説明する課題が「活用しよう」に設定されている。 ・ 理科への興味・関心や学習意欲を高められるよう、発展的な内容や日常生活の疑問、科学の歴史等が「ハローサイエンス」に掲載されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決を通して、理科の見方・考え方が育まれるよう、課題の問いかけを示す「この時間の課題」に、科学的思考を促すための「見方」「考え方」が、併せて掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科の学習を通して、自己の成長や変化を実感できるよう、章の始めの「学習前の私」と終わりの「学習後の私」に、同じ内容の問いが設定されている。
	(ウ) 内容と構成		
分量・装丁・表記 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、話し合いや発表時に活用できる「学びの交換－アイデアボード」が設けられている。 ・ 全ての生徒への配慮として、視覚的刺激が抑えられるよう、カラーユニバーサルデザインが使用されている。 ・ 実験・観察方法を理解し、安全に取り組むことができるよう、1つ1つの操作が写真やイラストを使って説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に実験・観察を行うため、絶対にしてはいけないことや、特に注意することに、それぞれ「禁止マーク」「注意マーク」が表記されている。 ・ 全ての生徒にとって文章が読みやすくなるよう、ユニバーサルデザインフォントが学年に応じてフォントサイズを変えて表記されている。 ・ 本文中の重要語句は、要点を意識できるよう、明るい配色で示され、単元末には、重要語句が1ページにまとめられたページが設けられている。 	

調査資料

教科： 理科 種目： 理科 NO. 3

発行者の番号		6 1	
発行者の略称		啓林館	
書 名		未来へひろがるサイエンス	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 安全かつ正確に実験を進められるよう、「目的」から、3つの「ステップ」を経て、「結果」「考察」「探究の振り返り」と、実験での探究の過程が順を追って示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> 理科の学習内容と社会や実生活とのつながりに気付くことができるよう、科学コラム「部活ラボ」や「お仕事ラボ」等が複数掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に、その単元で学んだ知識を生かして、話し合いを通した課題解決に主体的に取り組むことができる「みんなで探Qクラブ」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> 本文と図・写真を見開きページ内の横並びで見ること、理解が進むよう、左右に広いAB判が採用されている。 観察・実験に見通しを持って、主体的に取り組むことができるよう、巻末に、切り離して、考えを書いたり、作図したりできる「探Qシート」が付けられている。 理科の学習内容を視覚的に認知し、興味・関心が高まるよう、図や写真がページ上部に集めて配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

調査資料

教科： 音楽 種目： 一般 NO. 1

発行者の番号		17	27
発行者の略称		教出	教芸
書名		中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って学ぶことができるよう、題材ごとの学びのねらいやヒント等が「学びのユニット」にまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的な活動を促すため、キャラクターの吹き出しによって、思考や話し合いの観点や例が示されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現の共通性や固有性に気付き、学びを深められるよう、主要教材に加え、「比べてみよう」や「深めてみよう」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作教材では、習得したことを生かして創意工夫の力を高められるよう、段階的な活動が示されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的な学びにつながるよう、自他の考えを記録する欄や、自分の気づきを記入できる「話し合おう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽と生活や社会との関わりを実感できるよう、「生活や社会の中の音楽」が掲載されている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・教材の領域・分野を視覚的に捉えられるよう、歌唱、創作、鑑賞のページごとに色づかいを分けている。 ・楽曲のイメージを膨らませられるよう、絵画や舞台写真が見開きページ全体の背景に使用されている。 ・音楽の歴史を視覚的に関連付けられるよう、音楽家の肖像や主要作品名が年表とともに掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の掲載ページは、白を基調とした紙面とすることで、音符などの視認性が高められている。 ・創作教材では、旋律のイメージを視覚的に捉えられるよう、音の高低やつながりが、白丸と直線で表されている。 ・総合芸術としてのオペラを視覚的に理解できるよう、オペラに関わる人々が、名称とイラストで掲載されている。

調査資料

教科： 音楽

種目： 器楽合奏

NO. 1

発行者の番号		17	27
発行者の略称		教出	教芸
書名		中学器楽 音楽のおくりもの	中学生の器楽
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器を通じた音楽文化に親しみを持てるよう、各楽器の演奏家のメッセージが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な音楽文化に興味を持てるよう、世界各国の様々な楽器を演奏する人々の写真が掲載されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しを持って学習に取り組めるよう、1ページまたは見開きでユニットが構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的・対話的な活動を促すため、キャラクターの吹き出しによって、思考や話し合いの観点や例が示されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びに向かう力が育まれるよう、各ユニットにおける学びのねらいが、ページ上部に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な楽器に親しみを持ち、それぞれの音色や響きの違いに気付けるよう、楽器編成の異なる合奏曲が収められている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒や学校の実態に応じて取り組めるよう、リコーダーではアルトとソプラノの楽譜が併記されている。 ・ 情報を活用して学習を深められるよう、「まなびリンク」の二次元コードが掲載されている。 ・ 楽器の扱い方を視覚的に捉えられるよう、必要な情報が写真やイラストと組み合わせて掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演奏の技法を視覚的に捉えられるよう、一連の動きが図や写真で示されている。 ・ 楽器の共通性や固有性を視覚的に意識できるよう、楽器の種類ごとに分類された「楽器の図鑑」が掲載されている。 ・ 全ての生徒が学習しやすいよう、楽譜の背景が白に統一され、楽譜の周囲に余白が設けられている。

調査資料

教科： 美術 種目： 美術 NO. 1

発行者の番号		9	38
発行者の略称		開隆堂	光村
書名		美術 発見と創造	美術
内容	(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、美術の社会的意味や目的を考えることができるよう、巻頭に美術の学習の意味や目的が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の学習内容を相互に関連付けて学べるよう、各題材の始めに鑑賞が設けられている。
	(イ) かながわ教育ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会とかかわる力」の育成を図れるよう、まとめとして、「美術の力を生かして社会とかかわる」という鑑賞を中心とした内容が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術文化の多様性への気づきが生まれるよう、題材に様々な国や地域の作品が扱われている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組めるよう、題材ごとに「学習のポイント」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連を意識しながら学べるよう、カリキュラム・マネジメントの視点から「〇〇科とのつながり」が設けられている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の関連性を理解し、学習を深められるよう、表現中心の題材の中に鑑賞の題材が組み込まれた教材が、詳細に掲載されている。 ・視覚的に理解できるよう、巻末の「学びの資料」では、技法に関する材料や手順が写真で示されている。 ・鑑賞学習への興味・関心を高められるよう、折り込みページに大型図版が使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材の中で見通しを持って活動ができるよう、生徒の制作過程が詳細に掲載されている。 ・美術への興味・関心が高まるよう、トレーシングペーパー等の特殊な紙が使用されている。 ・多様な価値観に触れられるよう、制作者の言葉が掲載されている。

調査資料

教科： 美術 種目： 美術 NO. 2

発行者の番号		116	
発行者の略称		日 文	
書 名		美術 美術との出会い	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な見方、考え方を身に付けられるよう、各題材に具体的な問いを示す「造形的な視点」が設けられている。 ・主体的で対話的な活動を促すよう、実際にグループで活動する生徒の写真や活動の深まりにつながるコラムが掲載されている。 	・
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・美術が、社会や生活の中でどのように生かされているかを意識できるよう、アーティストやデザイナーなどの著名人の言葉や考え方が取り上げられている。 	・
(ウ) 内容と構成			
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた資質・能力を育成することを目的とし、3分冊で構成されている。 ・人との触れ合いや共生への意識が高められるよう、複数の立場の作家や活動が紹介されている。 ・実物により近い感覚で見ることができるよう、鑑賞図版では、屏風の折り目と紙面の折り目を一致させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

調査資料

教科： 保健体育 種目： 保健体育 NO. 1

発行者の番号		2	4
発行者の略称		東 書	大日本
書 名		新しい保健体育	中学校保健体育
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の理解を深められるよう、学習事項に関連する動画やその状況をシミュレーションすることができる「D マークコンテンツ」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識の習得から効果的に資料等を活用した深い学びにつなげられるよう、見開きの左ページに本文を、右ページにそれに関連する資料を配置した構成となっている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> 資料を基に考えたり、話し合ったりできるよう、テーマごとに複数の問いが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力等を深められるよう、本文や資料を活用しながら、様々な活動に取り組むことができる「話し合ってみよう」・「やってみよう」が設定されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、テーマごとに「見つける」・「学習課題」・「課題の解決」・「広げる」の4つのステップが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりすることができるよう、単元末に「活用して深めよう」や「学びを活かそう」が設定されている。
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> スムーズにインターネットを使った学習ができるよう、「D マークコンテンツ内容一覧」が掲載されている。 3年間の学習の様々な場面で、身近な問題について考えられるよう、今日的な課題に関わる資料が、随所に掲載されている。 本文の重要な語句が太字で示され、「キーワード」の単語により、学習内容を予習したり、復習したりすることができるよう、巻末に「キーワードの解説」が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の流れを確認しながら実習を行うことができるよう、折り込みが採用されている。 巻頭ページには、スポーツの意義への関心を高められるよう、オリンピック・パラリンピックの歴史に関する写真等が掲載されている。 誰もが安心して学ぶことができるよう、ユニバーサルデザインフォントが使用され、レイアウトや文章の改行位置にも配慮がされている。

調 査 資 料

教科： 保健体育 種目： 保健体育 NO. 2

発行者の番号	5 0	2 2 4
発行者の略称	大修館	学 研
書 名	最新 中学校保健体育	中学保健体育
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを広げたり、深めたりすることができるよう、様々な課題に対する具体的な対策や対応について示された「特集資料」や「クローズアップ」が設けられている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関する様々な情報をインターネットで調べられるよう、「web 保体情報館」が設けられている。 <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識が実生活に生きて働くよう、生活に関連した情報を提供する読み物として「コラム」・「事例」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう、課題解決に向けて考えたり、話し合ったりする活動が複数設定されている。 ・身の回りの様々な事象が健康に関わっていることに気付くことができるよう、各章の始めに「保健体育と情報」が設けられている。 ・幅広い知識とともに、教養を身に付けようとする態度を養うことができるよう、章の始めに学習内容に関連した人物を紹介している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な学習を意識できるよう、学習内容と他教科との関連を示す「他教科マーク」が使用されている。 ・全ての生徒にとって見やすさ、読みやすさを高めるため、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・「実習」のページでは、実際に体を動かしながら理解力を高められるよう、写真やイラストを用いて説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する内容に関連する事項について、考えるきっかけを与えられるよう、関連する写真や資料等が随所に掲載されている。 ・「章のまとめ」の「振り返ろう」では、本文に戻って確認できるよう、問題ごとに学習したページが記載されている。 ・興味・関心に応じて、発展的に取り組める内容に、「発展」マークが記載されている。

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 技術分野 NO. 1

発行者の番号		2	6
発行者の略称		東 書	教 図
書 名		新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	NEW 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方を意識した学習を進められるよう、様々な視点からの問いを示した「最適化の窓」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」の3つの柱のバランスの取れた育成が実現されるよう、全ての内容の章立てが1章「知識・技能」・2章「設計・計画」・3章「評価・活用」で構成されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・技術による問題解決の工夫や実生活との関わりに気付くことができるよう、社会で活躍する人物のコラムを紹介する「技術の匠」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容が実際に社会の中でどのように役立っているかを知ることで、勤労観を育めるよう、「技ビト」に職人や技術者のコラムが掲載されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びに取り組めるよう、「活動」において、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための具体的な発問が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習をしながら、実習の基礎技能や安全な操作法を確認できるよう、別冊の「技術ハンドブック」に実習に関わる知識・技能がまとめて掲載されている。
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して学習に取り組むことができるよう、ユニバーサルデザインに対応した配色やフォントが用いられている。 ・他教科との関連や、動画資料をデジタルコンテンツで確認できるよう、「Dマーク」が設けられている。 ・本文や資料で紹介されている技術の応用や工夫を学べるよう、ページ下部に「技術の工夫」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの観点から、文字サイズが18Qで設定され、主要語句は青太文字で示されている。 ・見通しを持って学習に取り組むことができるよう、学習の流れを示す表記として、「見つける」・「学ぶ」・「振り返る」が用いられている。 ・製作に関連する映像資料を閲覧できるよう、二次元コードが設けられている。

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 技術分野 NO. 2

発行者の番号		9	
発行者の略称		開隆堂	
書名		技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	
内容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力を身に付けられるよう、「実習例」には問題解決の流れが具体的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・環境についての意識を高め、循環型社会に対応していく態度を身に付けられるよう、環境や資源・エネルギーに配慮する内容に、「環境」マークが付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を円滑に進められるよう、工具の扱い等を、写真や図版とともに示した「動作のポイント」が複数設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連する動画を閲覧できるよう、各見開きページの右下に二次元コードが設けられている。 ・安全・正確に実習を行えるよう、作業工程の特質に応じて、作業者の目線で撮影された写真が掲載されている。 ・色を識別しやすいよう、カラーバリアフリーデザインに配慮した配色となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

調査資料

教科： 技術・家庭 種目： 家庭分野 NO. 1

発行者の番号		2	6
発行者の略称		東 書	教 図
書 名		新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習を振り返り、中学校での学習の見通しを持てるよう、3年間の学習内容と自己の生活における課題が見開きで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びができるよう、各題材が、「見つめる」・「学ぶ」・「振り返る」の3つの流れで構成されている。
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭分野のガイダンス」で学習した内容と各編で学ぶ内容との関連を確認できるよう、各編の始めに、「生活の営みに係る見方・考え方の例」が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に主体的に対応できる力を育めるよう、全体を通して、様々な現代社会の課題が取り上げられている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を考えたり、意見を整理したりする際に活用できるよう、複数の「思考ツール」が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な資料を通して、具体的なイメージをつかめるよう、本文に対応する図や表、写真などの資料が同ページに掲載されている。
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して学習に取り組むことができるよう、色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインが使用されている。 ・深い学びにつながる手立てとして、他教科や省庁へのリンクのある箇所「Dマーク」が示されている。 ・学習内容を実際の生活で生かせるよう、防災・減災に関する内容が取り上げられ、巻末に、切り離して活用できる「防災・減災手帳」が付録として設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性などの発達特性に配慮し、彩度を下げたイラストや図が使用されている。 ・本文の主題を理解しやすいよう、キーワードを青文字で表記するとともに、「起承結」を基本とした文章で表現している。 ・献立を考える際、組み合わせのイメージができるよう、巻末に、様々な料理のシールが付属されている。

調 査 資 料

教科： 技術・家庭 種目： 家庭分野 NO. 2

発行者の番号		9	
発行者の略称		開隆堂	
書 名		技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	
内 容	(ア) 教育基本法、 学校教育法 及び学習指導 要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現に向かう態度が育成されるよう、各編で、自然や環境に配慮した視点を取り入れている。 	
	(イ) かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・地域の人々と協力して生活することの大切さを理解できるよう、具体的な活動例が示されている。 	
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識を持って学習に取り組めるよう、各テーマの始めに、「学習の目標」と自ら課題を見い出すことができるような問いが設けられている。 	
分量・装丁・表記 等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品の概量を実感できるよう、食品の写真が実物大で掲載されている。 ・ 食物アレルギーのある生徒が安心して実習に取り組めるよう、調理実習の材料でアレルギー物質を含むものは、文字の背景が黄色で表記されている。 ・ 実際の動作や具体例が確認できるよう、図や実習の資料に二次元コードが設けられている。 	

調査資料

教科： 外国語

種目： 英語

NO. 1

発行者の番号	2	9
発行者の略称	東 書	開隆堂
書 名	NEW HORIZON English Course	SUNSHINE ENGLISH COURSE
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での学習から円滑な接続が図れるよう、1 学年の学習が親しみのある題材と基礎力を育む内容から始まっている。 ・ 新出文法の導入において、その表現が使用される目的・場面・状況を理解できるよう、「Preview」が設定されている。 ・ 他教科と関連する内容を英語で学べるよう、3 年間を通して「Learning～in English」が設けられている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しを持った学習ができるよう、各学年の巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」が掲載されている。 ・ 自国の文化や伝統の発信とともに、異文化理解ができるよう、文化の多様性に触れた題材が取り上げられている。 ・ 様々な場面設定の中で、既習事項を統合的に活用する協働学習ができるよう、「Our Project」が設けられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を読む活動において、学習の目安となるよう、本文の最後に使用語彙数が記載されている。 ・ 文法事項の理解を促すため、「Grammar for Communication」に文法の内容を表すイラストが併記されている。 ・ 小・中・高等学校での学習を俯瞰し、振り返られるよう、「学習をふり返ろう－CAN-DO リスト－」が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な語彙・表現の定着が図れるよう、言語活動で切り離して使える「アクションカード」が、巻末に用意されている。 ・ 生徒が英語を身近に感じられるよう、学習場面に応じて、手書きに近い欧文書体や手書き風の書体が用いられている。 ・ 「New Words」では、使えるようになるべき発信語彙は太字で、意味が理解できればよい受容語彙は細字で記載されている。

調査資料

教科： 外国語

種目： 英語

NO. 2

発行者の番号	15	17
発行者の略称	三省堂	教出
書名	NEW CROWN English Series	ONE WORLD English Course
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の場面に応じて、グループやペアで対話的な活動が行えるよう、「Take Action」が設けられている。 ・ 文法事項等の習得から活用に円滑につながられるよう、「GET」・「USE」という活動の流れで構成されている。 ・ つづりと音の関係や音変化など、英語の音声について気付きながら学べるよう、「Sounds」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しを持った学習と自己評価ができるよう、学習到達目標が「Can-Do 自己チェックリスト」に掲載されている。 ・ 英語を運用する上で役に立つルールやコツを学べるよう、4技能に係る様々なヒントが「Tips」に掲載されている。 ・ 生徒の自律的な学習に資するよう、学習の仕方を示す「How to Study」が設けられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示に従ってペアで即興のやり取りをする活動が、付録の「ロールプレイシート」にまとまっている。 ・ 複数の単元のまとめとなる「Project」により、全単元を3つに分け、それぞれのまとまりを3色で色分けしている。 ・ 学習到達目標ごとに、どの単元に関連しているか振り返られるよう、学習到達目標とともに、単元名も表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ くり返し読むことを促すよう、本文の音読回数を記録できる「Read Aloud」が設けられている。 ・ ゲーム感覚で楽しく発話を引き出せるよう、ミシン加工が施され、切り離して使える活動用カードが付けられている。 ・ 「Activities Plus」で重要語句の確認やQ&A活動等の自主学習ができるよう、マスキングシートが付けられている。

調 査 資 料

教科： 外国語

種目： 英語

NO. 3

発行者の番号	3 8	6 1
発行者の略称	光 村	啓林館
書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE	BLUE SKY English Course
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を通して複数の技能を統合的に活用する力を付けられるよう、プロジェクト型の言語活動「You Can Do It」が設けられている。 ・異文化や多様性を学びながら、思考力を高められるよう、「World Tour」が設けられている。 ・Unitの最後の「Goal」という言語活動に向けて、学校生活の身近な場面設定でストーリー性のある構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で表現する手助けとなるよう、表現活動の際に必要な語彙を「Tool Box」としてまとめている。 ・題材への興味・関心を高めるとともに、内容を深く理解できるよう、「More Information」が設けられている。 ・主体的に学習を進められるよう、各Unitの始めに学習到達目標が明示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・即興的なやり取りの力を継続的に高められるよう、帯教材として、「Let's Talk」がとじ込みの形で用意されている。 ・学習段階に配慮し「Active Grammar」では、文を構成する要素の違いが視覚的にも分かるよう、品詞ごとに、色や形を変えて表記している。 ・学習の幅を広げることができるよう、音声や関連動画、リンク集等を利用できる二次元コードが配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて進められるよう、見開きで2時間扱いとし、年間32時間の予備時間を確保している。 ・それぞれの活動で身に付けたい4技能・5領域を意識できるよう、活動ごとに色分けしたアイコンで示されている。 ・発信活動に活用できる英語表現リストとして、使用場面別にまとめられた「Word Box」が設けられている。

調査資料

教科： 特別の教科 道徳 種目： 道徳 NO. 1

発行者の番号	2	17
発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新訂 新しい道徳	中学道徳 とびだそう未来へ
内 容	<p>(ア) 主体的・対話的な活動を促すため、巻頭の「話し合いの手引き」として、道徳の授業における話し合いの基本的な流れが示されている。</p> <p>(イ) 主体的な学習態度の育成を図り、テーマについての考えを深めることができるよう、ロールプレイ等の体験的な学習を取り入れた「ACTION!」が設けられている。</p> <p>(ウ) 見通しを持って学習に取り組めるよう、各教材の冒頭に、考え、深めさせたい観点が、テーマとして示されている。</p>	<p>・社会と自分とのつながりを捉え、次の時代を切り拓く力を養うため、現代的課題や社会参画を意識した教材が、複数掲載されている。</p> <p>・主体的・対話的で深い学びにつなげられるよう、各教材の始まりに問いかけが、終わりに物事を多面的・多角的に考える助けとなる「学びの道しるべ」が用意されている。</p> <p>・学習内容を自分ごととして捉え、主体的な学びにつながるよう、生徒にとって身近な場面を扱った教材が複数掲載されている。</p>
分量・装丁・表記等	<p>・対話を通し、深い学び合いにつなげる十分な時間が確保できるよう、各教材の設問が2問に精選されている。</p> <p>・自己表現のツールとして、ホワイトボード用紙や葛藤教材等で活用できる心情円が付けられている。</p> <p>・教材文や漫画を読みながら、自分の考えをまとめやすいように、思ったことをその場で記入できる「つぶやき」欄が設けられている。</p>	<p>・音読箇所を確認しやすいよう、本文の下に5行ごとの数字と、行を数えるための補助点が表記されている。</p> <p>・各学期と年間の振り返りができるよう、巻末に2種類のワークシートが用意されている。</p> <p>・学校や生徒の実態に応じて、弾力的に使用することができる「補充教材」が、複数掲載されている。</p>

調査資料

教科： 特別の教科 道徳 種目： 道徳 NO. 2

発行者の番号	38	116	
発行者の略称	光村	日文	
書名	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	中学道徳 あすを生きる	
内容	(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、生徒の成長過程に即した学びを進めることができるよう、年間を3シーズンに分け、それぞれに学びのテーマが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の発達の段階を考慮して、学年ごとに「であう」・「みつめる」・「ひらく」のテーマが設定されている。
	(イ) かながわ教育ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的な見方・考え方ができるよう、各教材の終わりに、中心発問と異なる切り口の間いとなる「見方を変えて」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の展開をイメージしやすいよう、問題解決的な学習や体験的な学習の教材には、「学習の進め方」が掲載されている。
	(ウ) 内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して目指す姿に近づけるよう、同じテーマに基づいた複数の教材を組み合わせた「ユニット」により、各シーズンが構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを広げ、深めていくことができるよう、関係する教材の前後に「プラットフォーム」や「参考」といったコラムが資料として掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に内容の理解が図れるよう、漫画の教材や、豊富な写真・イラストが掲載されている。 ・朗読や動画など、生徒の興味・関心を引くデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが複数掲載されている。 ・1時間ごとや学期ごとに学びを振り返ることができるよう、巻末に切り取って使用できる「学びの記録」のページが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びを振り返り、成長を実感できるよう、各教材に対応したワークシートをまとめた「道徳ノート」が、別冊として設けられている。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者に発信し、家庭との連携を図れるよう、別冊「道徳ノート」の終わりに、「保護者記入欄」が設けられている。 ・持ち運びの負担軽減が図れるよう、用紙が軽量化されている。 	

調 査 資 料

教科： 特別の教科 道徳 種目： 道徳 NO. 3

発行者の番号	2 2 4	2 3 2
発行者の略称	学 研	廣あかつき
書 名	新・中学生の道徳 明日への扉	中学生の道徳 自分を見つめる 中学生の道徳 自分を考える 中学生の道徳 自分をのばす
内 容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通して「生命尊重」が重点テーマとされており、それらの教材とともに学びを深めるための特設ページとして「クローズアップ+」が設けられている。 ・「考え、議論する道徳」の学習を進めることができるよう、教材とは異なる視点や関連情報として「クローズアップ」や「クローズアップ+」が掲載されている。 ・生徒自らの気付きや考えを促せるよう、教材の前に主題名を示さず、教材名のみが掲載されている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <p>(ウ) 内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を通して、豊かな自己形成を促せるよう、これまでの道徳で大切にされてきた教材が複数掲載されている。 ・道徳的価値や人としての生き方を深く学べるよう、各教材の最後に、著名人の格言や名言が掲載されている。 ・よりよく生きる基盤となる道徳性を育めるよう、「生命尊重」や「いじめ防止・人権尊重」に重点をおいた構成になっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心を引き出すため、AB版サイズの見開き2ページの紙面に、写真やイラスト、資料が複数掲載されている。 ・視覚情報により、生徒の関心を引き出すため、AB版サイズを採用し、大きな見開きを生かした表記となっている。 ・学習する内容項目を確認できるよう、各教材名の上に4つの視点を表すマークが表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の目次には、インターネット上の補助教材にアクセスできる二次元コードが、補助教材にある教材のページには、「インターネット」のマークが表示されている。 ・生徒自身が学びを振り返り、成長を実感できるよう、各教材に対応した「道徳ノート」が、別冊として用意されている。 ・生徒が学習を通して考えたことや感じたことを自由に記述できるよう、「道徳ノート」の「学習の記録」が設けられている。

調査資料

教科： 特別の教科 道徳 種目： 道徳 NO. 4

発行者の番号	233	
発行者の略称	日科	
書名	道徳 中学校 生き方から学ぶ 道徳 中学校 生き方を見つめる 道徳 中学校 生き方を創造する	
内容	<p>(ア) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考と議論を積み重ねる中で、多様な考え方を受け入れる寛容な心を育めるよう、ワーク方式を取り入れた教材が設定されている。 <p>(イ) かながわ教育ビジョンとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画を柔軟に編成することができるよう、目次に示した、ABCDの4つの視点ごとに、教材がまとめて配置されている。 <p>(ウ) 内容と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考と議論の積み重ねにより、学びが深まるよう、3学年で連続したストーリーとなる教材が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、22の内容項目とそれに対応している教材名が併記された「学習指導要録対応表」が掲載されている。 ・ どの教材からも、すぐに戻って、自分の成長を確かめられるよう、年度始めに、記入できる「今の僕、私」が冒頭の見開き右ページに配置されている。 ・ 目次に、それぞれの教材がどの視点や内容項目に基づいているのかが分かるよう、色分けされた記号と数字が表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

